

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工に関する安全上の注意

- 取付け前に、この「施工に関する安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
 - ここに示した △ 注意は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結び付く可能性があります。
- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△ 注意

身障者や高齢者が使われる際は、手すりに全体重がかかりますので、手すりが外れたり、がたが生じないように強固に取り付けてください。

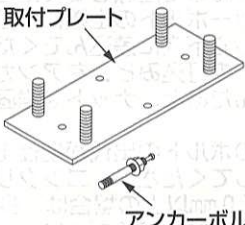
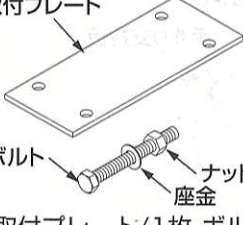
外れたりしますと使用される方が転倒し、けがをすることがあります。

指定された壁以外は使用しないでください。

外れたりしますと使用される方が転倒し、けがをすることがあります。

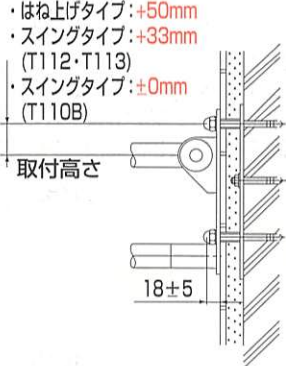
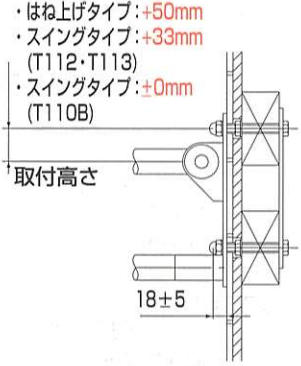
取付前のご注意

この手すり固定金具は、TOTOパブリック用手すり（T110B、T112、T113）可動式手すりの取付けにご使用できます。対象製品、建築構造を確認の上、お取り付けください。

	取付プレート固定	はさみ込み固定
仕様	・T110D5（スイングタイプ用） ・T110D9（はね上げタイプ用）  取付プレート アンカーボルト 溶接固定の場合は付属のアンカーボルトは使用しません。 （取付プレート/1枚 アンカーボルト/4本）	・T110D6（スイングタイプ用） ・T110D10（はね上げタイプ用）  取付プレート ボルト ナット 座金 ブロック壁の場合はボルトは使用しません。 （取付プレート/1枚 ボルト・座金・ナット/各4個）
現場調達部品（壁の種類により、ご用意ください）	（GL工法に使用の場合のみ） ・M12ステンレス長ねじボルトー4ヶ ・M12ステンレスナットー4ヶ ・M12ステンレス高ナットー4ヶ	（ブロック下地に使用の場合のみ） ・M12ステンレス長ねじボルトー4ヶ ・M12ステンレスナットー4ヶ ・M12用座金ー4ヶ
下穴（通し穴）	Φ 6.5 × 50（アンカーボルト用）	Φ 13

※長ねじボルトの長さは壁の厚みを考慮してご用意ください。

取付位置

	取付プレート固定	はさみ込み固定
固定金具 取付位置	 ・はね上げタイプ: +50mm ・スイングタイプ: +33mm (T112・T113) ・スイングタイプ: ±0mm (T110B) 取付高さ 18±5	 ・はね上げタイプ: +50mm ・スイングタイプ: +33mm (T112・T113) ・スイングタイプ: ±0mm (T110B) 取付高さ 18±5

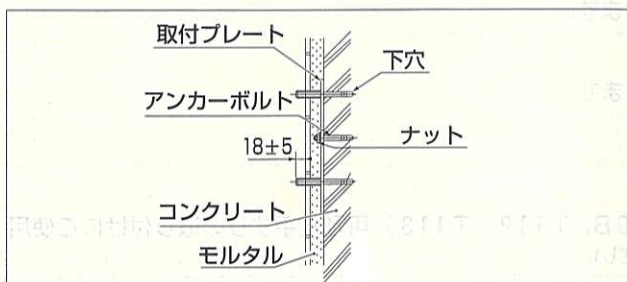
※はさみ込み固定の場合は補強木の厚みが50～60mmのものを取付けてください。

建築構造別取付方法

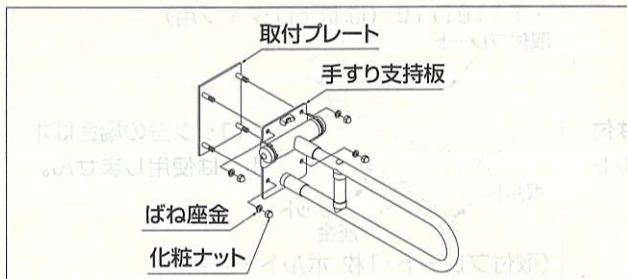
(1) コンクリート下地の場合

固定金具品番 T110D5・9

- ①心出しをした後、アンカーボルトの下穴をΦ6.5mmのドリルで約50mmの深さにあけてください。ドリルのサイズが大きすぎたり心振れを起こすと確実な固定ができませんので注意してください。
- ②ナットをアンカーボルトの上端に合せて、取付プレートの取付穴に通して下穴に差し込んでください。
- ③アンカーボルトの打込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打込んだ後、ナットを強固に締付けてください。
- ④取付プレートのボルトの出代が壁仕上げ面より 18 ± 5 mmになるようにしてください。
- ⑤壁仕上げの後、手すり支持板をばね座金、化粧ナットで取付プレートのボルトに強固に固定してください。



手すり支持板の取付け

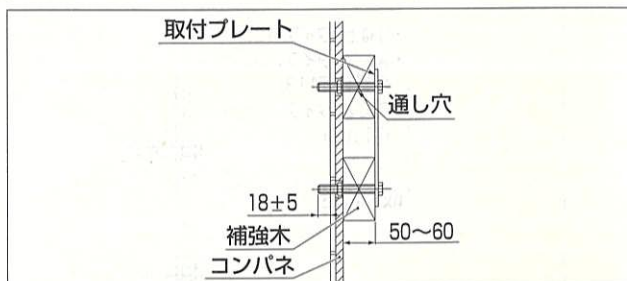


※固定金具に同梱のアンカーボルトのナットは手すりを取付ける時には使用しません。

(2) 木下地の場合

固定金具品番 T110D6・10

- ①心出しをした後、ボルトの通し穴をΦ13mmのドリルであけてください。
- ②ボルトを取付プレートの取付穴に通して、通し穴に差し込んでください。
- ③座金、ナットで強固に締付けてください。
- ④ボルトの出代が壁仕上げ面より 18 ± 5 mmになるようにしてください。
- ⑤壁仕上げの後、手すり支持板をばね座金、化粧ナットでボルトに強固に締付けてください。

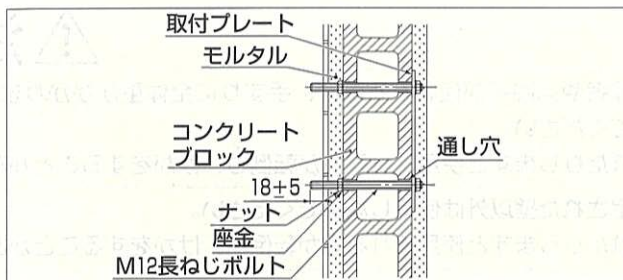


(3) ブロック下地の場合

固定金具品番 T110D6・10

- | 現場調達部品 | 品名 | 数量 |
|-----------------|----|----|
| ・M12ステンレス長ねじボルト | 4ヶ | |
| ・M12ステンレスナット | 4ヶ | |
| ・M12用座金 | 4ヶ | |

- ①心出しをした後、ボルトの通し穴をΦ13mmのドリルであけてください。
- ②長ねじボルトを通し穴に差し込み、ブロック裏面に取付プレートを当てがって、両側よりナット、座金で締付けてください。
- ③ボルトの出代が壁仕上げ面より 18 ± 5 mmになるようにしてください。
- ④壁仕上げの後、手すり支持板をばね座金、化粧ナットでボルトに強固に締付けてください。

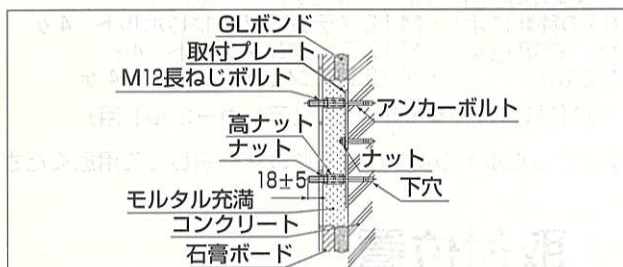


(4) GL工法の場合

固定金具品番 T110D5・9

- | 現場調達部品 | 品名 | 数量 |
|-----------------|---------------|----|
| ・M12ステンレス長ねじボルト | 4ヶ | |
| ・M12ステンレスナット | 4ヶ | |
| mm以上の場合) | ・M12ステンレス高ナット | 4ヶ |

- ①心出しをした後、アンカーボルトの下穴をΦ6.5mmのドリルで約50mmの深さにあけてください。ドリルのサイズが大きすぎたり心振れを起こすと確実な固定ができませんので注意してください。
- ②ナットをアンカーボルトの上端に合せて、取付プレートの取付穴に通して下穴に差し込んでください。
- ③アンカーボルトの打込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打込んだあと、ナットを強固に締付けてください。
- ④取付プレートのボルトの出代が壁仕上げ面より 18 ± 5 mmになるようにしてください。コンクリート下地から壁仕上げ面までが30mm以上の場合は、長ねじボルトを高ナット、ナットで連結してください。
- ⑤壁仕上げの後、手すり支持板をばね座金、化粧ナットで取付プレートのボルトに強固に固定してください。



(5) 軽量鉄骨下地の場合

固定金具品番 T110D5・9

- ①心出しをした後、取付プレートを軽鉄に溶接してください。
 - ②コンパネを取付け、壁仕上げ後、ボルトの出代が 18 ± 5 mmになるようにしてください。
 - ③手すり支持板をばね座金、化粧ナットでボルトに強固に固定してください。
- ※軽鉄はt2.3mm以上のものを使用してください。

